

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

わたしがHAPPY あなたにHAPPY まちにもHAPPY 岩崎小
 (知)ともに学び合い、粘り強く解決していける「考える力」を育てます。(理性)
 (徳)自分も友達も大切に、「心豊かに生きようとする心」を育てます。(人間性)
 (体)心と体の健康に関心をもち、「自分から行動しようとする力」を育てます。(自主性)
 (公)異学年や地域と豊かに関わり、「人のために役立とうとする意志」を育てます。(社会性)
 (開)日本や世界の文化や歴史を学び、「社会変化や世界への関心」を育てます。(国際性)

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

〈自分づくりに関する力〉
豊かに関わり合い、自分のよさに気付く

具体化した資質・能力

豊かにかかわり合い⇒他者を寛容に受け止め、説明したり質問したりしながら、みんなが納得する解をつくる力
 自分のよさに気付く⇒目的を達成するために、自分が何を努力し成長したか、ひと・もの・こととどのようにかかわって努力し成長したかを、振り返る力

中期取組目標

- 学校教育目標の具現化のために、効果的な学習指導(知・徳・体・公・開)と児童指導に取り組みます。
- 信頼される学校づくりのために、コンプライアンスを徹底し、安全管理や広報に努め、学校評価改善、幼保小連携、小中連携、地域連携に取り組みます。
- 効率的な学校運営を実現するために、人材育成、組織運営改善、業務改善、適切な労務管理を実行します。

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	意図的・計画的な指導のため①年間指導計画作成(カリマネ)②基礎学力定着の取組 論理的に考える力(プログラミング的思考力)育成のため③思考ツール活用や説明活動の充実 授業力向上のため④授業公開の実施⑤イフ・アップ(教員用図書、授業づくり講座) データに基づいた指導のため⑥学力・学習状況調査の分析と活用
担当	学力向上

学力向上に関わる本校の状況

令和7年度は、「豊かにかかわり合い、ねばり強く学びをつかっていく子どもの育成」を目指し、教職員全体で学習中の子どもの姿を具体化したり、よりよい授業のために大切にしていることを話し合ったりしてきた。また、デジタルドリルや電子図書を導入したり、教員一人ひとりの授業公開の機会を設けたりすることで、児童の学習に対する意識や理解度は高まり、学校評価結果にも表れてきている。
 一方で、「学習したことを生活に生かしたり、考えを広げたりする力」はやや低い傾向にある。得た知識を活用しながら、多面的・多角的にねばり強く考え、材や友達とのかかわりをもとにさらに学びを深めていく子どもの育成を引き続き目指していく必要がある。そのためにも、思考ツールなどを効果的に活用して、物事を順序立てて考えたり、表現したりする場を設定していく。また、自分の学びを適切に表現していけるように、各教科の振り返りについても視点を明確にし、系統立てて取り組んでいく。

今年度の目標

昨年度の成果と課題を踏まえて、「豊かにかかわり合い、ねばり強く学びをつかっていく子どもの育成」を目指していく。

目標を実現するための具体的行動プラン(具体的取組をどのように実現するか)

	具体的取組
上半期	①年間指導計画作成(カリマネ) 材や友達との対話を意識した単元・授業作り ②データに基づいた指導のため学力・学習状況調査の分析と活用 その分析をもとに学年テーマを設定して、年間で取り組んでいく。 ③基礎学力定着の取組 デジタルドリルや電子図書を活用した朝のチャレンジタイムの活用 ④思考ツール活用や説明活動の充実 ・「学習したことを生活に生かしたり、考えを広げたりする力」を高めるための話し合い活動 ・視点を明確にし、系統立てた各教科の振り返りの実施
下半期	⑤イフ・アップ(教員用図書、授業づくり講座) ①授業公開の実施 学年研究にし、学年テーマ・教科を決めて、授業力向上を図っていく。 ②基礎学力定着の取組 デジタルドリルや電子図書を活用した朝のチャレンジタイムの活用 ③思考ツール活用や説明活動の充実 ・「学習したことを生活に生かしたり、考えを広げたりする力」を高めるための話し合い活動 ・視点を明確にし、系統立てた各教科の振り返りの実施 ④イフ・アップ(教員用図書、授業づくり講座)

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	多様な考えを認め合い寛容な心育成のため①グループワークの活用②YP(年2回)③人権学習プログラム(12月) 豊かな心の育成を目指して④道徳科の授業を確実に実施⑤道徳授業公開(年1回)⑥道徳研修⑦文化芸術・スポーツ活動の充実(音楽朝会、読書活動の充実、狂言体験、食育サッカー教室を毎年実施) 規範意識を高めるため⑧児童指導朝会(年10回)⑨みんなで守る10か条朝会
担当	人権・児童指導

豊かな心に関わる本校の状況

日頃から児童が基本的な生活習慣を身に付け、気持ちのよい学校生活を送ることができるよう、挨拶や廊下の右側歩行についての取り組みを行っている。年間を通して呼びかけているが、児童全体を見ると十分に達成できているとはいえず、今後も継続して取り組む必要がある。
 R7年度より規範意識を高めるための児童指導朝会を実施してきた。安全面やマナーなどについて全校放送で確かめ、学級で話し合うことで児童の意識付けにつながっている。年3回、みんなで守る10箇条朝会も行い、自分のことを振り返る機会をつかった。また、年間計画に基づいて、たてわり活動を行っている。他学年との交流を通して、発達段階に応じた関わり方や互いを認め合う気持ちが育ってきている。
 人権週間では「子どもの社会的スキル 横浜プログラム(YP)」を活用し、「いのちの安全教育」と絡めて「SOSの出し方に関する教育」を実施した。お互いのことを知り合うことや問題や課題に対して効果ある対処法を選択し、SOSのサインを発したり、誰かに助けを求めたり、自分で解決していくための「社会的スキル」を身につけられる活動となっている。
 教職員の人権教育研修としては、ホームレスについての理解と学校における支援について研修を行い、多様な価値観を認め合う意識を高めた。継続して教員の人権感覚・意識の向上を図っていく。

今年度の目標

昨年度の成果と課題を踏まえて、「心豊かに生きようとする心の育成」を目指していく。

目標を実現するための具体的行動プラン(具体的取組をどのように実現するか)

	具体的取組
上半期	(1)豊かな心の育成 多様な考えを認め合い寛容な心育成のため ①グループワークの活用 ②YP 豊かな心の育成を目指して ④道徳授業公開(年1回) ⑤道徳研修 ⑥文化芸術・スポーツ活動の充実(音楽朝会、読書活動の充実、狂言体験、食育サッカー教室を毎年実施) (2)規範意識を高める 規範意識を高めるため ⑥児童指導朝会(年10回) ⑦みんなで守る10か条朝会
下半期	(1)豊かな心の育成 多様な考えを認め合い寛容な心育成のため ①グループワークの活用 ②YP ③人権学習プログラム(12月) 豊かな心の育成を目指して ⑥文化芸術・スポーツ活動の充実(音楽朝会、読書活動の充実、狂言体験、食育サッカー教室を毎年実施) (2)規範意識を高める 規範意識を高めるため ⑥児童指導朝会(年10回) ⑦みんなで守る10か条朝会

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	健康・安全意識を高め実践力をつけるため①全校学校保健委員会(年2回)②児童運動委員会による体力アップ集会③交通安全教室④避難訓練(毎月)⑤給食週間(1月)⑥放射線教育(1、4年)⑦薬物乱用防止教室(5、6年)⑧防犯教室(3年)⑨サイバー教室(5、6年)※主に犯罪につながる事
担当	保健・安全

健やかな体に関わる本校の状況

本校では、多くの子どもが休み時間には外遊びをしている。外ではボール遊びや鬼あそび、冬になると縄跳びをする子どももいてそれぞれが休み時間に運動できることを楽しみにしている。しかし声をかけないと中にいる子どもが多い。外に出て遊んでいる児童の遊び方を見ると、いろいろな遊びをするというよりは、同じ遊びをしていることが多かつたりする。市平均と比較して、鉄棒の前回りおりや逆上がりの通過率が低くなっている。また、子どもによつての運動の経験の差が大きくなってきている。特に投げる動きの経験が少ない子どもが多い。
 ・避難訓練を月に一度実施し、非常時に落ち着いて行動できるように想定し行動している。地震、火災、不審者対応、そして近隣火災の想定で行い、放送を聞いて避難経路を判断できるようにしている。全体的に避難訓練の目的を意識して、しっかりと取り組むことができる。
 ・令和7年度は学校保健委員会で「歩き方」をテーマに、自分の生活を振り返った。保健委員会の子どもたちから、学校での怪我防止や安全な過ごし方についてテレビ放送で伝えてもらい、全校で一年間かけて取り組むことができた。

今年度の目標

昨年度の成果と課題を踏まえて、健康・安全意識を高め実践力をつけることを目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン(具体的取組をどのように実現するか)

	具体的取組
上半期	①全校学校保健委員会(年2回) 岩崎すこやか会議(学校保健委員会)を開催し、一年間の取り組みを振り返る。 ②体力テストの前後も含めた取り組み ・体力アップ週間として事前に体力テストの項目を行い、体力テストに意欲的に取り組めるようにする。 ・体力テストを実施することで、自分の持っている力を知ったり、昨年度からの体力の高まりを実感できたりするようにする。スタディナビを活用して、昨年の自分からの伸びを確認していく。 ③交通安全教室 警察の方から交通安全についての講話を聞いたり実際に歩いたりする。 ④避難訓練(毎月) 避難の約束を知り、落ち着いて行動できるように地震・火災・不審者対応訓練を行う。
下半期	○体育の授業を通して運動の楽しさを味わう。 ・年間の単元配列を確認して指導内容の見直しをもつ。単元に身に付けていく資質・能力を明確にして授業を行う。 ・運動が苦手な子どもも、得意な子どもも、運動の楽しさを感じられるような授業作りを行う。 ・見合いのポイントを明確に示すことで、子どもたちが対話をしながら学習を進めていけるようにする。 ・日頃の体育学習の成果を発揮できる運動会プログラムを編成する。学習の成果を他学年や保護者、地域の方に見てもらうことで運動に対する意欲が高まるようにする。 ⑤給食週間(1月) ⑥放射線教育(1、4年) ⑦薬物乱用防止教室(5、6年) 学校薬剤師と、企業を交代で講師をお願いする。 ⑧防犯教室(3年) 万引き・自転車事故防止 ⑨サイバー教室(5、6年) ※主に犯罪につながる事